

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R5-3号)

令和5年6月27日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和5年6月26日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

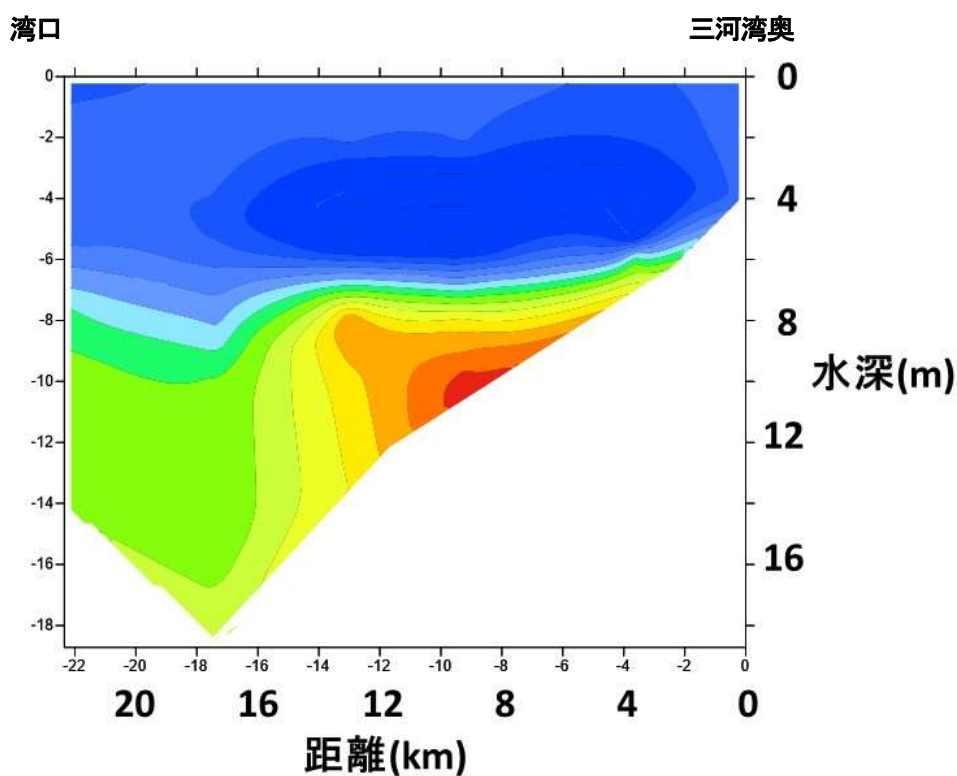
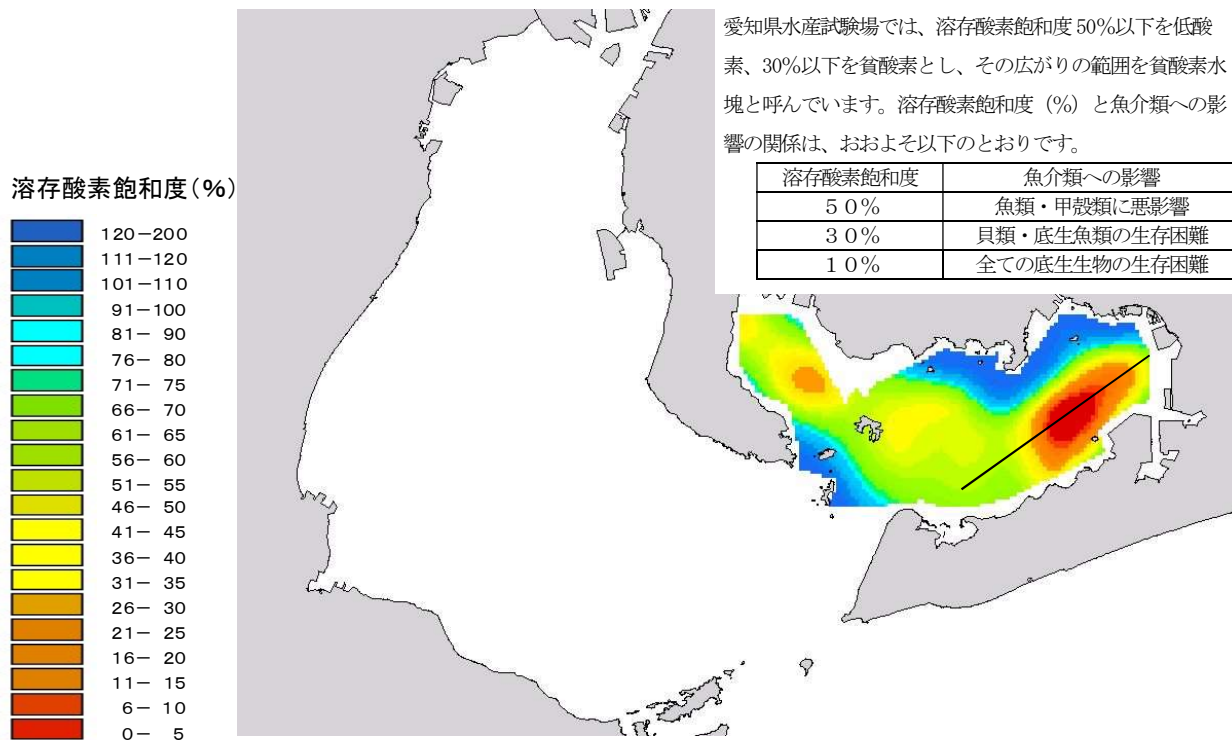


図1 三河湾 (6月26日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

6月26日の調査結果を図1に示しました。渥美湾北東部の貧酸素水塊が解消していた一方で、南東部では貧酸素水塊が確認されました。三河湾海況自動観測ブイ（1号ブイ・蒲郡沖）のデータを見ると、6月21～22日に7～10m/sの東～南東の風が吹いており、その影響で海水が鉛直混合し、一部の海域では、貧酸素水塊が解消したと考えられました。しかし、6月25日から再度、底層の溶存酸素飽和度が低下しており、今後は表層の水温上昇に伴う成層の発達によって、貧酸素水塊が拡大していくと考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	23.1～25.6	21.7～28.6
底層	19.3～23.3	29.1～32.7

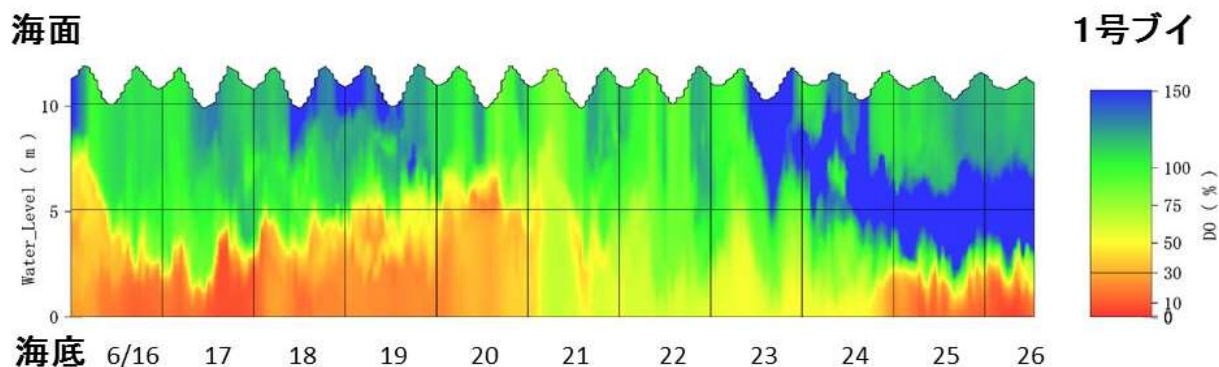


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ、1号ブイ）

参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

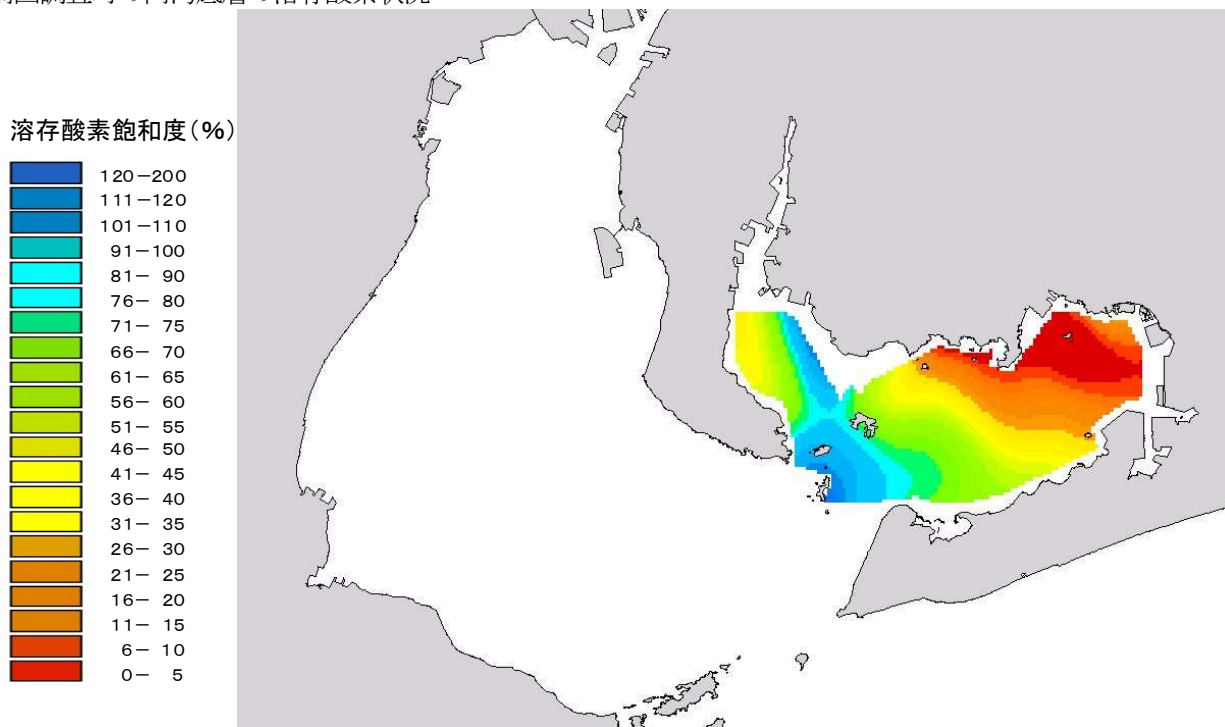


図3 令和5年6月19日（三河湾）